

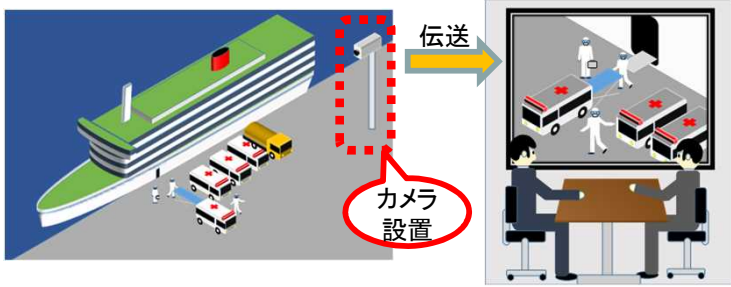
令和2年度補正予算 国費 8.0億円

○建設・物流分野において、大胆な効率化等に向けて、リアルデータを積極的に活用し公共事業等のデジタル化に踏み込み、施策の迅速化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を契機に、感染拡大防止につながるリモート化、省人化に取り組むことにより、抜本的な生産性の向上を期するDXを加速する。

**港湾へのライブカメラの設置による
検疫時等の情報収集能力の向上**

令和2年度補正予算
国費 1.4億円

○新型コロナウイルス感染症対策を契機に、検疫を集約する可能性のある港湾において、ライブカメラを設置することにより、リモートかつリアルタイムでの船舶周辺の情報収集を可能とし、関係者の感染リスク軽減等を図る。



**港湾建設現場の省人化・生産性向上の推進に資する
新技術の現場実証**

令和2年度補正予算
国費 3.4億円

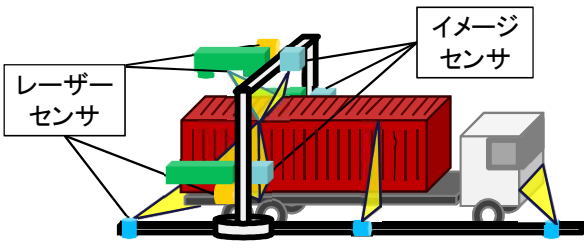
○危険を伴い、かつ、熟練した技術と経験が求められる港湾の海上・水中における監督や検査等の業務において、非接触・リモート化を推進するため、ドローンやナローマルチビーム等を活用した現場実証を行う。



**コンテナターミナルにおける
ダメージチェックの効率化に資する
新技術の現場実証**

令和2年度補正予算
国費 0.6億円

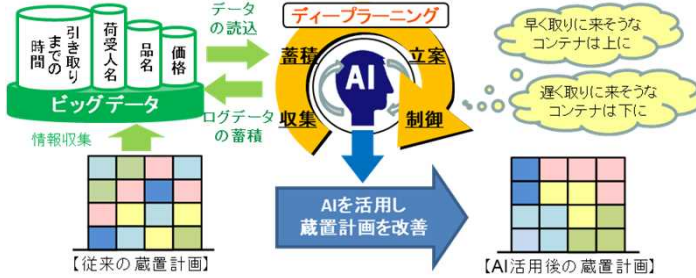
○目視確認により行っているコンテナのダメージチェックについて、システムの開発・導入により、ゲート処理の迅速化・負担軽減を図る。



**コンテナターミナルにおける
オペレーション最適化に資する
新技術の現場実証**

令和2年度補正予算
国費 0.9億円

○コンテナ物流のリアルデータを活用し、AI技術と組み合わせることにより、荷繰り回数を最小化するシステムを開発し、コンテナターミナルの大幅な生産性向上を図る。



**港湾関連データ連携基盤の
構築**

令和2年度補正予算
国費 1.6億円

○港湾物流に関するあらゆる情報の電子化を実現。港湾関連データ連携基盤を構築し、手続きの非接触化、効率化等を推進する。

